

申請日(年/月/日)

2024/7/1

sample_i_50_form.xlsx

注)各セル内に収まる文字数で簡潔な入力をお願いします。「申請フォーム記入について」をよく読んで上でご記入ください。フォントの大きさは変更できません。ファイル名「i_50_form.xlsx」を変更せず保存・送信してください。

I. 応募者について

氏名	日本語表記(漢字・かな・カタカナ)		アルファベット表記(半角英文字)		
	上野 基子		Ueno, Motoko		
性別	選択肢番号	選択肢		生年月日	例) 1985/10/16
	2	← 1 男 2 女 3 どちらでもない			1960/11/24
連絡先	郵便番号(-なし)	ご住所			
	1860006	東京都武蔵野市中町1-11-16			
	電話番号	メールアドレス		Webサイト URL	
	0421234567	abc@uenofoundation.com		なし	

↓各項目の枠内に収まるように記入してください。フォントの大きさは変更できません。

略歴	学歴・資格	2000年4月～2004年3月 △△大学社会福祉学部社会福祉科 卒業 2018年4月～2020年3月 □□大学大学院社会福祉学専攻(博士課程前期)修了(修士 社会福祉学専攻) 資格:社会福祉士(2004年取得)
	職歴・現職業(役職等)	2004年4月～2015年3月 公益財団法人XX(プログラム担当) 2015年4月～2020年3月 社会福祉法人YY(青少年活動担当) 2022年4月～現在 特定非営利活動法人ZZ(女性相談担当)
	社会活動歴	2000年10月～2004年3月:NPO法人○○○にて、ボランティアとして週に2日、障害のある子どものデイサービスでの学習指導を行った。 2010年4月～現在:一般社団法人□□の「女性と人権」グループにて運営委員として、女性と人権に関わる講演会やワークショップなどの企画運営を行っている。

※セル内での改行は「Alt」+「Enter」(Macは「Option」+「Enter」)

II. 申請する事業について

助成対象事業	選択肢番号	選択肢
	1	← 1 SDGsの緒課題の解決に向けた活動 2 女性学・ジェンダーの発展に寄与する調査・研究・出版
事業の区分	選択肢番号	選択肢
	2	← 1 活動 2 調査 3 研究 4 出版
申請事業名	外国にルーツを持つ女性労働者のリプロダクティブヘルスに関する困難とニーズ調査	
↓各項目の枠内に収まるように記入してください。フォントの大きさは変更できません。		
目的・内容	(1) 事業の目的	近年増加している日本への移住労働者(外国人労働者)女性、中でも主に様々な制約がある中で働く技能実習生(2024年以降は育成就労生)が、日本で生活をする中で直面している困難、特にリプロダクティブヘルス・ライツに関する困難について調査を実施し、彼女たちのニーズに基づいた具体的な支援について提言を行う。今回の申請では、支援策の提言までを目的としているが、来年度以降、この提言に基づく支援策を実施する予定である。
	(2) 事業の内容	1. モスク等の移住労働者のコミュニティなどで機縁法にて、主に技能実習生(2024年以降は育成就労生)として来日している女性たちに、月経、妊娠(避妊・中絶含)、出産等のリプロダクティブヘルス・ライツに関する困難や日本で直面している困難(生活面、精神面など)について、半構造化自由回答法によるインタビュー調査を実施する。 2. その結果を分析し、女性たちの実態とニーズに基づきリプロダクティブヘルス・ライツに関する支援策を提言する。
	(3) 事業実施に至る動機	慢性的な労働力不足により、近年移住労働者は増加の一途を辿っており、本年1月には205万人と過去最高を更新した。特に2024年以降、特定技能2号の対象分野が拡大され、今後ますます幅広い分野で移住労働者女性の増加が予測される。その多くは若い女性であり、リプロダクティブヘルス・ライツに関する問題が懸念される。2020年には妊娠した技能実習生が誰にも相談できずに自宅で死産し、罪に問われた事件も発生した。妊娠、出産等の労働者の権利に関する日本の法律への理解や知識、月経、避妊、中絶、妊娠、出産などのリプロダクティブヘルス・ライツに関する困難を明らかにし、彼女たちのニーズに沿った支援を行うための基礎調査が必要である。
	(4) 実施期間内での達成事項	移住労働者女性の 1. 妊娠、出産等の労働者の権利に関する日本の法律への理解や知識が明らかにできる 2. リプロダクティブヘルス・ライツに関する困難が明らかにできる 3. 上記に関する女性たちのニーズが明らかにできる 4. これらによって、彼女たちのリプロダクティブヘルス・ライツに関する実態を明らかにし、困難を解消するための支援策の検討を行うことができる。
	(5) 期待される効果	移住労働者女性のリプロダクティブヘルス・ライツに関する実態が明らかになることで、移住労働者女性特有の困難とニーズが把握され、彼女たちが必要としている支援を実施するための支援策が計画できるようになる。それにより、彼女たちのリプロダクティブヘルス・ライツを守り、日本滞在中の彼女たちのwell-beingの向上が期待できる。
	(6) 基金の目的に資する有益性	本調査によって、移住労働者女性のリプロダクティブヘルス・ライツに関する権利を守ることにつながり、SDGs目標8.8「移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する」に資することができる。 また、移住労働者女性に焦点をあてることは、国内の女性労働者問題にインターセクショナルな視点をもたらすことになり、ジェンダー研究にも資することができる。
	(7) 事業の斬新性や意義	今後、ますます増加すると思われる移住労働者女性のリプロダクティブヘルス・ライツの実態は、これまであまり焦点が当てられてこなかった。本調査によって、彼女たちの現状を明らかにし、権利を守り、具体的な支援を実施することにつながるができる。これにより、彼女たち自身のwell-beingを向上させるのみならず、移住労働者女性の権利を保護し、働きやすい環境を整え、移住労働先として選ばれる国となるという点で、少子高齢化によって彼女たちの働きを必要としている日本社会においても、意義が認められる。

※セル内での改行は「Alt」+「Enter」(Macは「Option」+「Enter」)

II. 申請する事業について (つづき)

実施期間 年/月/日	開始	2024/9/1	終了	2025/8/31	期間	1年0ヶ月
↓各項目の枠内に収まるように記入してください。フォントの大きさは変更できません。						
実施スケジュールと実施方法	<p>【2024年9月】調査対象となる女性の選定(30人程度): 調査協力者をこれまでに知り合った移住労働者女性の紹介や移住労働者コミュニティなどで選定する。</p> <p>【2024年10月~11月】予備調査、半構造化自由回答法によるインタビューのための調査票作成: 調査票を確定するための予備調査として、調査協力者数名にインタビューを行い、それをもとに調査票を作成する。</p> <p>【2024年12月~2025年5月】調査: 調査協力者に、作成した半構造化自由回答法によるインタビュー調査を実施する。</p> <p>【2025年6月~8月】調査結果の分析と報告書作成、報告会の実施</p>					
事業実施の協力者・連携先・連携内容	タニア・イスラムさん(移住労働者女性): 調査協力者の紹介 ロケア・ベゴムさん(移住労働者女性): 調査協力者の紹介 一般財団法人〇〇(女性の権利保護団体): 調査報告会の実施					
申請事業に関連したこれまでの活動や研究実績	2018年 〇〇市において、XXに関する調査の実施 2019年 〇〇学会大会報告 題名「XXXXX」 2020年 〇〇大学大学院紀要第〇号「XXXXX」					
事業終了後に提出する成果物	1. 調査報告書、2. 調査報告会のチラシ、当日の写真、報告会用パワーポイント資料、報告会実施報告書					

※セル内での改行は「Alt」+「Enter」(Macは「Option」+「Enter」)

III. 申請金額および使途理由

申請金額 単位:円 (上限50万円)	210,000	実施事業 全体予算	250,000	申請金額との差額	40,000円	
差額調達方法	自主財源(レコーダー、文房具、参考文献の購入など)					
申請金額の内訳 「区分」の選択肢 1 物品 2 旅費 3 人件費 4 その他	名称	区分	金額	理由		
	(例) 東京⇄沖縄 往復航空運賃	2	70,000	インタビュー調査のため		
	交通費(都内を想定)	2	80,000	予備調査含むインタビュー調査(1回2,000円×40回)		
	会場費	4	60,000	予備調査含むインタビュー調査(1回1,500円×40回)		
	印刷費	1	5,000	調査票(10ページ×10円/1枚×50部[予備含])		
	印刷費	1	10,000	報告会宣伝用チラシ		
	写真現像代	1	5,000	報告会用大判写真(500円/1枚×10枚)		
	印刷費	1	50,000	印刷費(報告書、100部)		
	その他の経費					
	合計		210,000			

IV. 他の助成金への応募状況

助成金名称	金額	助成金交付結果発表時期
	円	
	円	
	円	
	円	